



南あわじ市

議会たより

灘黒岩水仙郷▶



▲広田梅林



▲干支瓦

主な内容

第30回定例会	P 2～5
委員会での議案審査	P 6～9
一般質問	P 10～14

議決結果

提案	議案の内容	議決結果
市長	南あわじ市市民憲章、市の花及び市の木を定める条例制定	原案可決
市長	南あわじ市特別養護老人ホーム「すいせんホーム」(賀集)と「どんぐりの里」(松帆)の民営化に伴う関係条例の改廃。建物を無償譲渡。土地を無償貸付。市の在宅介護支援センターも民営化。市のデイサービスセンターは伊加利のみに。(全7件)	原案可決
市長	水道事業島内3市統合に伴う「淡路広域水道企業団規約」の変更	原案可決
議員	議会改革特別委員会の設置と委員の選任	原案可決
市長	平成21年度一般会計補正予算(総額5億7,682万円を追加。人形会館建設費4,840万円の追加、固定資産税6,400万円の減額など)	原案可決
市長	平成21年度特別会計補正予算(国民健康保険、後期高齢者医療など全11件)	原案可決
市長	学校情報通信技術環境整備事業(南あわじ市)物品売買契約の締結(さくらケーシーエスと2億874万円の契約。パソコン1,000台、デジカメ145台ほか)	原案可決
市長	企業団地(榎列)の土地を鳥取興業に売却	原案可決
市長	海岸の埋め立てによる新たな土地の確認と字区域の変更(阿那賀、沼島。全18件)	原案可決
市長	南あわじ市国土利用計画審議会条例の制定	原案可決
市長	関係法令改正に伴う条例整理(非常勤の市職員、市消防団員等の公務災害補償等に関する条例の一部改正。全2件)	原案可決
市長	公の施設の指定管理者の指定(足湯、海釣り公園、伊毘オートキャンプ場ほか。全4件)	原案可決
市長	ほ場整備の施行場所の変更(全3件)	原案可決
市長	ほ場整備に伴う、字の区域の変更(全4件)	原案可決
市長	平成21年度農業共済事業に係る園芸施設共済無事戻金の支払い	原案可決
市長	損害賠償額の決定の専決処分の承認(中央リサイクルセンター内での事故)	承認
市長	教育委員会委員(近藤智氏)の任命同意	同意
市長	固定資産評価審査委員会委員(磯辺正和氏)の選任同意	同意
議員	改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書 (請願者:兵庫県司法書士会)	採択
議員	” 意見書	原案可決
議員	後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める請願書 (請願者:年金者組合南あわじ支部、淡路民主商工会)	不採択
議員	” 意見書	否決

こんなことが決まりました



▲日本水仙



▲黒松

市民憲章を設定
市の花・木は「日本水仙」「黒松」

第30回南あわじ市議会定例会が、12月7日(21日まで開かれました。市長提出の一般会計補正予算、南あわじ市市民憲章、市の花及び市の木を定める議案などが上

る条例、淡路広域水道企業団規約の変更など59議案、改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願、議会改革特別委員会設置などの委員会発委などの議案が上

程。慎重審議の結果、後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める請願と意見書案を除き、すべて可決されました。(3頁に議決結果一覧表)

南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、薫り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたくしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切に、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- 人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます。
 - 周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく喜びをめざします。
 - 恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもりまします。
 - 歴史遺産や伝統文化を大切に、誇りをもって次の世代に伝えていきます。
 - 仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます。
- 平成22年1月11日制定



水道事業の経営統合に向けて 淡路広域水道企業団規約の変更

平成22年4月1日から、淡路広域水道企業団が行っていた水道用
水供給事業と島内3市
の水道事業が統合し、
企業団において水道事
業を行うことから、企
業団規約が変更されま
した。

水道事業の経営統合
は、当初は平成17年4
月1日の予定で進めら
れておりましたが、市
町合併の関係から5年
間延長され、平成22年
4月1日の統合を目指
してきました。

規約変更の主な点は、
企業団において共同処
理をする事務が「水道
用水供給事業」から「関
係市の水道事業（簡易
水道を除く）」に変更さ
れ、3市の水道料金が

統一されます。

また、3市の市長が
執行部になることから
企業団議会の議員には、
これまでの3市の議長、
副議長に加えて、総務
常任委員会の長が新に
議員になり
ます。執行部
は、3市の市
長のうち1
人が企業長
に、副企業長
には他の2
市長と3市
の市長が任
命した者1
名の3名が
なります。

企業団の
運営に関す
る経費につ
いては、独立
採算性を維



▲淡路広域水道事業統合基本協定調印式（12月25日、淡路広域消防ビル）

持するため、料金、企
業債、国県補助金のほ
か、3市からの繰出金
出資金等については3
市が協議をして定める
ように変更されました。

国へ意見書を送付 「改正貸金業法の早期完全施行等を 求める意見書」

平成18年12月に改
正貸金業法が成立し、
出資法の上限金利の
引き下げ、年収の3
分の1を超える過剰
貸付契約の禁止（総
量規制）などを含む
同法が本年6月まで
に完全施行される予定
です。



他方、一部には借り
たい人が借りられない
など、資金調達が制限
されることから、改正
法の完全施行の延期や
貸金業者に対する規制
の緩和を求める論調が
あります。

しかしながら、改正
法の延期や規制の緩和
は、再び多重債務者の
急増を招きかねません。
必要とされる施策は、
相談体制の拡充、セー

フティネット貸付の充
実及びヤミ金融の撲滅
などであります。
以上のことから、南
あわじ市議会では、国
に対し改正法の完全施
行など多重債務問題の
解決を求め、意見書を
提出しました。

本件は、兵庫県司法
書士会（島田雄三会長）
からの請願で、議員を
通じて議会に上程され、
採択されたことにより、
産業建設常任委員会か
ら発委されました。

人事について 同意

教育委員会委員

近藤 智
（阿那賀）

市小学校長、御原中
学校長、市社会教育委
員を歴任。現在、阿那
賀地区公民館長。

固定資産評価 審査委員会委員

磯辺 正和
（灘）

元南淡町役場職員。
税務課長、議事事務局
長など歴任。現在、農
業を営む。

（敬称略）

討 論

議案に対して賛否の意見表明「討論」があ
りました。その要旨を掲載します。

南あわじ市一般会計 補正予算（第5号）

反対 蛭子智彦

市民生活の大変厳し
いときに、余裕のでき
た財源を活用して税の
軽減を図るなど暮らし
応援をすべきです。し
かし今回の補正は一つ
の手立ても打たれてい
ません。このような補
正予算をそのまま認め
られません。

南あわじ市特別養護 老人ホーム条例を廃 止する条例制定につ いて

反対 蛭子智彦

特別養護老人ホーム
を民間運営に任せるこ
とは、行政の目的「住民
の福祉向上」からみて福
祉行政の大きな後退で

す。今でも特別養護老
人ホームは不足してい
ます。民間に頼りすぎ
るのは大きな問題です。
学校情報通信技術環
境整備事業（南あわ
じ市）物品売買契約
の締結について

反対 蛭子智彦

大手業者に学校のパ
ソコン機器契約を全て
委ねてしまう事は地域
経済に何の効果もあり
ません。学校関係者と
もよく協議をして、生
徒1人1台のパソコン
整備で地域経済にも貢
献できる事業内容にす
るべきです。

財産の 無償譲渡について

反対 蛭子智彦

市民の貴重な財産で

後期高齢者医療制度 の速やかな廃止を求 める請願

反対 原口育大

国民皆保険制度の根
幹である国保は、被保
険者に所得の低い高齢
者が多いという構造的
課題を抱えており、社
会保障制度そのものを
見直す必要に迫られて
います。
従って制度を廃止す
るにしても見直すにし
ても、しっかりと準備
をする期間が必要であ
り、廃止後の財源の手
当てなり準備ができて
いない状況での廃止は
現場を混乱させるだけ
です。

議会改革特別委員会を設置

地方分権時代にふさわしい議会のありかた、 活性化にむけて

南あわじ市議会は議
会改革に関する調査研
究を目的に「議会改革
特別委員会」を設置し
ました。

設置期間は、調査が
終了するまでです。

■設置の理由

地方分権時代にあつ
て、議会が役割を最大
限に発揮するためには、
議会運営等をより自主
的・自立的に行うため
の取り組みを積極的に
進める必要があります。

また、二元代表制の
一翼を担う市民の代表
機関として、監視・評
価機能の充実はもとよ
り、議員の政策形成能
力の向上など市民の多
様なニーズに応えるた
め、広範かつ高度な対

議会改革特別委員会委員



森上 祐治



谷口 博文



委員長 原口 育大



蛭子 智彦



阿部 計一



副委員長 熊田 司

応が強く求められてい
ます。
前期議会改革特別委
員会の調査結果を基礎
に、議会のあり方や市
民参加など議会の活性

化を目指した基本的事
項を内容とする「議会
基本条例」などについ
て調査研究を行うため
に、本委員会を設置しまし
た。

委員会で議案を審査

各議案について、担当する3つの常任委員会で審査しました。

総務常任委員会

平成21年度一般会計 補正予算(第5号)

歳入

■繰越金について

問 繰越金約5億2千万円について、どのように評価しているか。

答 特別交付税の増額分1億7千万円が含まれている。残りの3億5千万円はほとんどは経常経費の削減であり、妥当な額とされている。

■固定資産税

問 固定資産税6400万円減額の内容は。

答 償却資産税の減額で、予算編成にあたり数ヶ所の法人等に電話等による

聞き取りを行ったが、一般については調査をしておらず、推計での予算計上であったため多額の差額が生じた。

■生活保護費の負担金

問 生活保護費の国庫負担金3900万円及び県負担金200万円の内容は。

答 特に生活扶助と医療扶助が多くなっている。ほとんど医療費が

歳出

■合併浄化槽の補助金

問 合併処理浄化槽設置整備事業補助金1032万円増額の内容は。

答 当初予算では全体で50基を予定していたが、最終的な見込みで58基になったことと、11人槽の大きい槽が増えたことによる増額。

■淡路広域水道企業団への出資

問 今後人口が減少していく中で、下水道か

占めており長期入院している方が多くいる。

ら合併浄化槽に切り替えるほうが投資効果が高まるのではないかと。下水事業で認可変更を伴うものは精査していくが、認可区域は効率性があるので認可されている。末端部で極端に戸数が減っている場合、変更ができるように持っていきたい。

問 淡路人形会館建設工事費4840万円増額の内容は。

答 県内産材木を使う実するための経費、埋設管の移設及び旧護岸の撤去費用で、市の一般財源は持ち出さない。

問 設計者から提案があり、現在、瓦組合と新製品開発の協議を進めている。屋根材を中心とした新製品を取り入れる協議を進めている。

問 自主防災組織育成事業補助金650万円の増額は。

文教厚生常任委員会

平成21年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

問 諸収入の第三者納付金について、一般被保険者及び退職被保険者分合わせて約610万円追加補正されているが、任意保険に加入していない場合などにより、滞っているケースがあるか。

答 滞っているものがあると思うが、国保連合会に委託をしているので、そちらで調査をしている。

問 平成21年10月までについては、審査会を68回開催し、1712件を審査している。調査は認定調査員による調査と、主治医の意見書で審査を行う。

問 介護職員処遇改善交付金443万円計上されている。どのような処遇改善か。

答 指定管理をしている。

「どんぐりの里」と「すいせんホーム」へ介護職員1人当たり1万5千円を交付するもので、職員の賃金を平均で1万5千円あげていくというものである。

問 交付金が職員賃金に反映されているのか。

答 計画に対する実績報告を、それぞれの法人が県に提出し、交付金額以上の賃金改善がなされているか審査を行う。

平成21年度南あわじ市訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)

問 訪問看護手数料800万円減額の内容は。

答 4月に理学療法士1名退職により現在1名になったことと、時間の短いサービスが新たに導入され、この件数が増えたことにより手数料が減った。

問 自主防災組織結成後、3年間で整備を図るためのもので、22組織から申請が提出されたための追加補正である。

問 自主防災組織は機能しているか。

答 補助金を出して育成に努めている。自主防災組織の整備を図る事業として機材の整備などを補助し、3年を経過した組織には、5年間、組織の活性化を図るソフト事業として防災訓練、勉強会に対し補助金を出すことになっている。

■小中学校大規模改修工事

問 八木小学校屋内運動場大規模改修工事費1610万円の減額及び御原中学校校舎大規模改修工事費2326万円の減額について。入札減となり余裕ができた予算で、設計段階

でカットした部分の復活ができないか。

問 国庫補助金は、建設工事費の補助対象部分の半額程度で残りは起債及び一般財源となっているため、必要最小限度ということで、学校現場の声を聞いた中で、極力設計書に反映させている。

平成21年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

問 修繕料4111万円の内訳は。

答 告知端末機のカミナリ被害の修繕が671万円、電柱の移設が3440万円。告知端末は市から貸し出しており、カミナリ等にかかる故障については、建物損害共済金として、一台あたり5万4千円、実費すべてが全国自治協会から出る。

問 平成21年度南あわじ市介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 介護認定審査会で審査を行った回数と、対象者数は。



▲民営化が決まった特別養護老人ホーム
どんぐりの里 (上、松帆樺田)
すいせんホーム (下、賀集野田)

学校情報通信技術環境整備事業(南あわじ市) 物品売買契約の締結

契約の入札を2社で実施した経緯は。物品購入での入札ですが、翌年度以降の保守業務も合わせて考慮し、指名願いのある業者の中から、過去に実績のある11社を選出してヒヤリングを行った結果、8社が遠隔地であるため保守業務が出来ない、または見積もりが合わないなどの理由で辞退するなど、最終的に2社となった。

地元業者参入のために、機器の購入と保守業務を分離しての入札を検討できなかったのか。



▲小中学校にパソコン1000台などを購入

数量が多いため納入してセットアップが大変で、保守管理に繋げるという事でこの形にした。

保守管理について、急な対応は可能か。

契約する業者は、市での実績があるので大丈夫。

財産の無償譲渡、無償貸付について

建物の現在の評価額はどれくらいか。

鑑定評価を行っており、「どんぐりの里」は1億8387万円、「すいせんホーム」は2億5987万円。

有償譲渡した場合、国費及び県費の返還額はどれくらいか。

建設等当時の事業費に占める国及び県の補助金の割合を譲渡額に乗じた額で「どんぐりの里」については譲渡額の約50%となるため、評価額で売却した場合、約9千万円が返還額となる。

産業建設常任委員会

平成21年度南あわじ市水道事業会計補正予算(第1号)

高料金対策補助金1108万円増額の理由は。

水道料金の資本を投資した分だけ料金が高くなるのを、一定の基準で抑えるという国の施策により、今年度の資本費の基準決定額が172円/m²となった。

平成21年度南あわじ市農業共済事業会計補正予算(第1号)

受取特定損害防止事業負担金246万円

南あわじ市国土利用計画審議会条例制定

今なぜこの条例を制定する必要があるのか。

現在、旧4町で

後期高齢者医療制度の速やかな廃止を求める請願について

請願書に「新しい制度を作ってから廃止する。そのために2年の期間が必要」と厚生労働大臣の発言が報道されているとあるが、加入している市民が廃止を希望している声を聞いているのか。

廃止を言っており、参議院で制度の廃止を可決している。衆議院選での民主党の得票数を見れば、市民の多くの声が集まっている。

平成21年度南あわじ市国民宿舎事業会計補正予算(第1号)

今回の補正は職員1名減によるものだが、運営への影響は。

臨時職員を1

策定した計画が残っている状態であり、国及び県は、昨年に第4次の計画が見直しをされており、それに合わせて市の計画を策定するため、国土利用計画審議会条例を制定する。また、国土利用計画は、概ね10年間を期間として、国土利用の基本方針を定めるものである。

公の施設の指定管理者の指定

利用者は、観光協会が施設の管理をしており、入場者数のカウントを行っている。平成20年度は5万997人、平成19年度は6万4370人、平成18年度は6万8704人で、平成21年度は10月現在で3万8724人。

市に対する管理者

市に対する管理者

からの要請等は。衛生面での要請はないが、昨年、防犯対策のため警報器、モニターの設置を行った。

浮体式多目的公園

現状は。

入場者数は、平成18年度は1万9183人、平成19年度は1万9342人、平成20年度は1万7641人。



▲足湯「うずのゆ」(福良)



▲浮体式多目的公園(メガフロート)



▲埋め立て地を確認(阿那賀・沼島の9か所)

南あわじ市の区域内に新たに生じた土地の確認について、字の区域の変更について(9か所)

埋め立ての時期が昭和40年代など古いものであるが、登記はどのようになっているのか。

県管理の漁港であり県が登記する、県有地

改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書

多重債務問題の相談窓口はどのような所にあるのか。各市町村役場及び法テラス(日本司法支援センター)の相談窓口及び弁護士会、司法書士の相談会場がある。司法書士会では月に一度相談会を行っており、神戸市で年間約2万件的相談を受けている。

多重債務相談体制の整備についての問題点は。相談窓口を知らない方が多いため、司法書士会で広報を行なっている。行政の窓口の相談員の人員費については、交付にあたり導入された多重債務問題プログラムには、国が全面的に費用を出して拡充していくことが記載されているので、実効性のあるものにすることを求めている。

司法書士などが多重債務の無料相談のコールセンターを行なっていることについて。司法書士会としては、多重債務問題は社会問題として、生活の再建を第一の目的としてきた。最近の過剰な広告は、理念に反していると考えている。



南あわじ市 日本共産党 蛭子 智彦 議員

三原川右岸堤防 補強工事を急げ

松帆北方、塩浜の三原川堤防は23号台風で被害を受け復旧しているが、コンクリート補強が不十分である。補強工事にかかる費用はいくらか。 都市整備部長 100メートルの区間で約1000万円程度。関連工事でさらに費用がかかる。 市長は県に早急な実施を求めるべき。



市長 県に要望したい。 県が行わないなら市が代わってやってほしい。

新庁舎建設は 住民合意で

新庁舎は住民合意がない。私たちの行ったアンケートでは260人中賛成1人であった。 市長公室長 貴重な意見として拝聴したい。 住民の意見を聴くには住民投票が必要である。 どう思うか。 市長 議員の意見を聞く。 淡路一市の考えもあり、対等な状況を作ることが大事。答申を尊重している。

住民の声をしっかりと聞いていただきたい。 国保税の 引き下げを

4年連続の国保税引き上げは市民生活の破壊をすぐ引き下げを。 市長 税の軽減で対応する。



正道・無所属クラブ 楠 和廣 議員

低地帯内水排水対策 進捗について

入貫川 都市整備部長 入貫川 機場21年着手次の2機 場工事が連続して進め ていく計画。



11月11日の大雨による冠水状況(松帆橋田)

100%同意の形と地域の方々の協力が必要かと思えます。

丸山・湊間の越波による障害物等での通行しづらい状況解消について

都市整備部長 県の社会基盤整備プログラムの元、突堤、パラペット補強等さまざまな事業取組をしていただいています。

耕作放棄、田の利活用での農業観光産業又地域の活性化への市民、観光農園等事業取組について

都市整備部長 市民農園が6ヶ所(市内)希望があれば全面的に協力支援推進しています。

西浦県道等整備 対策について

地元の



ゆづるはクラブ 原口 育大 議員

新規就農者への 支援策は

農業振興部長 今回の農地法改正により、農

体験観光を活用した 農業振興策を

都市住民への貸し農園とか、体験農場的な事業を奨励できないか、特に淡路玉葱は人気がある、普段の管理は田んぼの持ち主が行い、植付と収穫体験に来てもらう玉葱オーナー制を企業の福利厚生事業として売り込んではどうか。

産業振興部長 最近

体験・交流とかをプラスしたところに人気があるとも聞くので、入り込み数にかなり影響してくと考える。

農業振興部長 今

回の農地法改正により、農業・JAも含めて取り組んでいきたい。

地の貸し借りについて

は幅広くなった。農地情報カード化して農地利用集積円滑化協議会を立ち上げ、遊休地の有効利用を図り、就農者の希望にも情報提供ができるような組織づくりを考えている。

青果商を核とした 生産グループの育成を

青果商は人夫を抱えている売り口も持っている、そこが核になって、高齢者の農地を預かったり、機械作業はやるから普段の管理は農家がするとか、いろいろな契約方法で、耕作放棄になるのを防ぐような手だてが現実的だと思いが、施策として奨励できないか。

農業振興部長 協議会

を立ち上げる中で、企業・JAも含めて取り組んでいきたい。



正道・無所属クラブ 久米 啓右 議員

マーケティング 戦略室

現在までのマーケティング戦略室の事業経過は?

産業振興部長 第一

は農商工連携事業が採択され、現在稼動中。第二に互販売はキャラバン隊が、伝統的建造物群保存地区の市町へ訪問、またハウスメーカー本社へのPRも行っている。第三には観光振興では、市内の史跡をサイクリングで廻るコースを観光協会と協議をしている。

戦略室に対する市長の思いは?

市長 南あわじ市のすばらしい資源をPRし、歴史に出てくるような神話を含めて丸ごと全

丸山・湊間の越波による障害物等での通行しづらい状況解消について

都市整備部長 県の社会基盤整備プログラムの元、突堤、パラペット補強等さまざまな事業取組をしていただいています。

耕作放棄、田の利活用での農業観光産業又地域の活性化への市民、観光農園等事業取組について

都市整備部長 市民農園が6ヶ所(市内)希望があれば全面的に協力支援推進しています。

西浦県道等整備 対策について

地元の

国に売り出す。半歩足を外へ出して取組むという意気込みです。

「マーケティング」に対する、市長の捉えかたは?

市長 余り難しくは考えず、売買市場をいかに広げていくか、単純にそのまま受けとめてもらって良い。

マーケティング戦略室の事業展開として、他のメニューは?

産業振興部長 3本柱以外に東京、大阪等の物産展への参加、特産物の宅配事業もやっている。

マーケティングに対する職員の知識は?

産業振興部長 職員に専門家はいませんが、マーケティングの研修会や講習会に参加し知識のレベルアップを図っていききたい。



ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

22年度「子ども手当」で市民に入ってくるお金「約10億円」

子育て支援策を点検し直す必要があるのでは? 市長 今までとってきた子育て支援策は後退しない。

経済対策になりうるか? 健康福祉部長 「子ども手当」そのものは貯蓄に回る可能性が大きいと思われるが、市で考えられることは考えていく。

「事業仕分け」導入を!!

財務部長 現在取り組んでいる行政評価も事業仕分けの一つ。平成18年から導入し、効果も「かなり」あらわれている。今

その「かなり」のところで部長と私の認識が違う。

合併して旧4町の違いがあった。国の動きを十分見て、なお行政経費をいかに抑えるかという方向性になれば、議員の言う内容について否定しない。タイミングの問題と思う。

政権交代、「合併特例制度」は存続するか? 財務部長 特に財政面は国の「平成の大合併」によるもの。合併特例債の活用は、少しでも市の一般財源の経費が削減できる。

最終的には計画の180億円より抑え、約155億円。約1/3は市の借金だが、「政権」ではなく「国」との約束であり制度変更は100%ないと思っている。

低地対策・河川整備について

市民の生命を最優先して低地対策・河川整備に取り組んでいた。 都市整備部長 地元の意見を聞き整備計画を作成しており、全ての課題を一日でも早く改善できるよう努める。

雇用創出のためにも前倒しで事業に取り組めないのか。

財務部長 事業に対する地元の協力体制が整えば、県は三原川水系の予算を重点的に配分してくれるのではないかと。

慶野松原等の景観形成整備について

観光客が激減する。 市長 地域の子育てを支援するためにも学校で受け入れるなどの体制ができるよう積極的に話を進めたいと思っ

中、地の利がある慶野松原を整備し、地域の再生を促せないか。

産業振興部長 国立公園の指定があり、すぐに施設ができるかは考えていかなければならない。

ゴミ問題について

漁業関係者の生活を脅かすほどの漂着ゴミがあるが、対策は。 都市整備部長 2名の臨時職員を配置しパトロールをしている。

子育て支援としての学童保育は、ニーズに応じた対応は、できないのか。

市長 地域の子育てを支援するためにも学校で受け入れるなどの体制ができるよう積極的に話を進めたいと思っ



ゆづるはクラブ 小島 一 議員

議会に説明していきたい。
南あわじ市の将来についての考えは

新政権による 事業仕分の影響は
財務部長 市に関係する事業としては、オニオン道路の廃止が主なものです。財務については、交付税、暫定税率等について国の方針・情報をできるだけ早く入手して来年度の予算編成に取り組みたい。
市長 オニオン道路については、国の責任でやるよう、洲本市と一緒に取り組んで行きたい。

広田小、中学校について

市舎建設について
問 いつ頃、どのような形で明確にする予定か。
市長 基本設計は今、内部で十分に取り組んでいる。新年度に各種の団体の総会等また、

教育部長 現状の認識はしているが、早急な解決は難しい。

福祉について
問 障害者雇用状況は。
健康福祉部長 20年度求職者116人に対し雇用は49人。
問 担当部局が企業回りを行なっているか。
健康福祉部長 一般企業への就職活動も取り組んでいる。

福祉について

住宅建替、住民の意見を尊重し慎重に
問 福良地区老朽住宅が多いが。
都市整備部長 危険性高い漁民住宅、福良の二号住宅を優先的に建替え方向で進める。
問 入居住民の意見を聞く必要がある。
都市整備部長 アンケート調査を実施した。
問 アンケート内容を尊重し慎重に。
市の観光は
問 マーケティング戦略室、交流人口の増加対策は。
産業振興部長 観光圏認定、二泊三日プランをPRして行く。
問 福良地区の今後のあり方は。
副市長 地域の皆さんと一緒に実践して行く。



市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員



公明党 熊田 司 議員

慮する必要があるが、今後淡路島3市で実施できる方向で検討したい。

放課後の子ども達の居場所づくりについて
問 子供達の放課後の居場所づくりの場である放課後子ども教室と学童保育。これらを連携させて、小規模校でも月曜から金曜まで、教室を開催することはできないか。
健康福祉部長 保護者からのニーズがあることは承知しているが、課題もたくさんあるのが実情。今後とも教育委員会と連携をとりながら、よりよい形で実施できる方法を検討していきたい。
ヒブワクチンの公費助成について
問 乳幼児ヒブワクチンの接種費用を市で助成することはできないか。
健康福祉部長 財源を考

高年齢者の肺炎球菌ワクチンの公費助成について

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用を市で助成することはできないか。
健康福祉部長 肺炎球菌ワクチンの確保が難しいのが現状。確保ができるようになれば、淡路島3市で協議をし、公費助成も考えていきたい。

保育所の耐震化工事について
問 保育所の耐震化工事をいつまでに完了させる予定か。
市長 保育所の耐震化工事については、国・県の補助がない。そういう状況なので合併特例債を使って、2年か3年の間に完了する方向で検討したい。

耐震化工事について
問 保育所の耐震化工事をいつまでに完了させる予定か。
市長 保育所の耐震化工事については、国・県の補助がない。そういう状況なので合併特例債を使って、2年か3年の間に完了する方向で検討したい。

議会同意案件について

議会同意案件について
問 議会同意案件はどのようなものがあるか。
総務部長 人事案件であって副市長、監査委員、教育委員会委員、財産区管理委員会等です。
問 3月議会に教育委員会委員の同意案件が出され同意された委員が11月に辞職された。議会として遺憾に思いませんか。
市長 本人とは十分にお話をし提案しました。
問 辞職の理由は。
教育長 一身上の理由です。
21年度定期監査結果について
問 市税等収入未済額
問 国保税の国庫補助の増額を常々要請を願っています。



市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員



ゆづるはクラブ 柏木 剛 議員

優良な農地に変えるための土地改良事業の推進。
問 販売価格を上げていく販路開拓の方策は？
農業振興部長 年間売上げ何十億円という直販施設が可能かどうか研究している。

農業所得の向上について
問 農業への南あわじ市の考え方は？
農業振興部長 世界的には既に8億人が食糧不足。今後人口増で穀物を初めとした食糧インフレが予想。南あわじ市は自給率173%で近畿圏でトップ、兵庫県は16%。基幹産業として捉えている。
問 南あわじ市の全所得に占める農業所得の割合は？
市民生活部長 20年度で南あわじ市全体で54.4%。6億円、内農業所得が9.6億円、全体から見ると1.8%。
問 地域の財産の農地の有効な活用策は？
農業振興部長 放棄田の解消、低地対策も含め、

担い手不足の対策として相互扶助、ファームヘルパーの考え方は？
農業振興部長 今後、そういう方向で出来る範囲で我々も考えていきたい。

有害鳥獣被害について
問 現在論鶴羽山系でのシカの生息数は？
農業振興部長 適正頭数1千頭で、現在1千3百から2千4百頭いる。
問 なぜ増えたのか？
部長 動物と人間の棲み分けが出来にくくなってきたのも一因。
問 防鹿柵の国の補助事業は現実にそぐわないのではないかと？
部長 「3戸連名」になっている、修繕は自己負担になる現行だ。
問 有害鳥獣駆除隊は。年間で何頭？
部長 現在58名。平均年齢65・7歳。
問 手当は十分か？
部長 年間224万円の予算。実質ボランティアのような形でお願している現状だ。
問 年間駆除目標は？
市長 市長のお考えは？
市長 やはり思い切った適正頭数を考えていくべきではないか。

有害鳥獣被害について

シカが420頭
部長 シカが420頭、イノシシ172頭、サル5匹、カラス230羽をお願いしている。
問 これで十分なのか？
部長 年明けにシカを300頭追加駆除をお願いすべく検討中だ。
問 県下のある市では駆除隊を養成する学校を創っている。猟銃所有の3万円の税金も立て替えていると聞くが。
部長 講習受講料、旅費の助成等検討中だ。
問 講習受講料、旅費の助成等検討中だ。
部長 講習受講料、旅費の助成等検討中だ。
問 講習受講料、旅費の助成等検討中だ。
部長 講習受講料、旅費の助成等検討中だ。



ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

閉会中の所管事務調査

議会閉会中も各常任委員会では、所管事務調査を行っています。
11月の臨時会以降に行われた、所管事務調査の結果を報告します。



▲11月11日の大雨による農作物被害（松帆志知川のレタス畑）



▲産業建設常任委員会が被災地を訪問

産業建設常任委員会

11月25日の調査事項は次の通りでした。
午前中に賀集八幡地区、阿万百軒掘、志知地区、松帆志知川、松帆北方地区の11月11日の大雨による被害地の視察を行い、午後から委員会を開催しました。

問 低地帯という概念は次の通りでした。午前中に賀集八幡地区、阿万百軒掘、志知地区、松帆志知川、松帆北方地区の11月11日の大雨による被害地の視察を行い、午後から委員会を開催しました。

問 11月11日の大雨でレタスの冠水被害が起こったが、災害として起こったものか、構造

問 志知の松本地区は構造改善をするときに

- 改善等で排水系統に問題があったためかどちらか。また補償とか見舞金等農協関係の動きは。
- 答** 天災と考えている。洲本農林、農協、普及所、市役所が集まって、被害について検討した。見舞金を農協と野菜の基金協会から折半で出す方向で話を進めている。
- 問** 低地帯地域の構造改善をする場合と、水害が極めて少ないと思われる所の構造改善する場合、水害が極めて少ないと思われる所の構造改善の場合



市民連合、無所属クラブ 北村 利夫 議員

行財政改革について

予算編成について

問 編成方針は。財務部長 健全化計画に基づく予算執行が基本的な考え方で。

問 政権交代で感想は。市長 末端自治体への中身については、十分ではないが、民主党の取り組みに期待はしているが、決断等中身の伝わりが少し遅い感じがする。

問 政権交代によって市政運営に影響は出るのか。市長 多分一部では影響が出るかなと、期待はしているが、細部が全然見えてこない。当市だけでなく全市町は少し戸惑いを感じているのでは。

問 行財政改革に終りはないと思うが目的は。市長公室長 孫子の代に健全な財政状況等をつくるため。

問 行財政改革の基本認識は住民が主人公の考え方でいいか。市長公室長 行政は市民あってのもの。

問 一般的に住民のニーズに沿った施策に取り組めるかどうかは、自主財源の厚さで決まると思うが。

市長公室長 財源がなくとも、市民が主人公の行政は出来る。

問 財政の苦しい要因の一つに、下水道事業の実施があるが。

上下水道部長 財政の負担になっていることは認識している。

臨時議会(11月27日)で 期末手当0.15か月分減額可決

11月27日に、第29回市議会臨時会が開かれました。

この議会では、市長、副市長、教育長の特別職と、職員の期末の手当0.15か月分の減額が提案されました。

発委

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

この条例の一部改正は、国の人事院勧告に基づき本市職員の給与のうち期末勤勉手当が減額されること及び本市における経済情勢並びに財政状況に鑑み、議員に支給される期末手当を減額する改正です。

この議会では、市長、副市長、教育長の特別職と、職員の期末の手当0.15か月分の減額が提案されました。

発委

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

この条例の一部改正は、国の人事院勧告に基づき本市職員の給与のうち期末勤勉手当が減額されること及び本市における経済情勢並びに財政状況に鑑み、議員に支給される期末手当を減額する改正です。

総務常任委員会での審査

期末手当の減額について

問 人事院勧告に準じての減額となっているが、市の財政状況により市独自で行うことはできないのか。

答 県の人事委員会の勧告に基づき実施している。基本となる数値は、国・県・近隣市・同規模の自治体として

問 今回の減額によりできた財源は、地域活性化、市民の生活応援のために充当するのか。

答 市の予算は基金の

取り崩しをして市民の福祉を低下させないように対応している。今回の財源については、しっかり検討し結論を出したい。

問 特別職については職員に準拠して改正を行うとなっているが、報酬審議会を毎年開催し、その年にふさわしい報酬を決めては。

答 合併後5年が経過したので、それぞれの報酬について総点検をしたいと考えている。

問 職員組合との協議の主な内容は。

答 引き下げ率、住居手当の取り扱いについて議論した。

み合わせて水路を整備するのが一番効果的な対策と考えている。

その他の質問事項

- 阿万排水ポンプ場の畦畔、農道、水路等の被害状況
- バイオマス炭化装置の現状
- 河川の浚渫及び危険箇所の点検
- 阿万百軒掘の矢板修理、取替え
- 塩屋川のL字曲がり部の改修
- 山路川の拡幅計画
- ほ場整備、農地水、農道、鳥獣害の国の仕分けによる見直し
- 有害鳥獣被害
- 南あわじ市の特産品の販売状況
- 路線価格の低下による企業団地の企業誘致
- 産業建設常任委員会では、次回はバイオマスの管内視察を予定しています。

第31回南あわじ市議会定例会日程（3月）

◆開会はずべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	3月1日(月)	1.平成22年度施政方針表明
第2日	3月2日(火)	2.平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算上程(提案説明) 3.条例案上程
第3日	3月5日(金)	1.一般質問(代表・個人) (平成22年度予算・施政方針の総括質疑を含む)
第4日	3月8日(月)	
第5日	3月9日(火)	
第6日	3月11日(木)	1.一般質問 2.平成22年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算(質疑・委員会付託) 3.追加議案上程
予備日	3月12日(金)	
第7日	3月18日(木)	1.付託案件委員会審査報告 2.追加議案上程
第8日	3月29日(月)	1.付託案件委員会審査報告 2.追加議案上程



	会議日	会議内容
委員会	3月15日(月) 午前10時	総務常任委員会
	3月16日(火) 午前10時	文教厚生常任委員会
	3月17日(水) 午前10時	産業建設常任委員会

※平成22年度予算は、予算審査特別委員会を設置し審査を行います。
審査の日程は、予算審査特別委員会設置後、3月19日(金)・23日(火)・25日(木)・26日(金)で調整を行う予定です。

①南あわじ市ホームページを開く

②メニューの『議会情報』をクリック



③『インターネット中継』をクリック

ここをクリック!!

ここをクリック!!



④アドレスをクリック

ここをクリック!!



議会だより第22号をお届けします。毎回熱心に読んでくださる方はお気付きだと思いますが、この22号の間、編集委員は「二人でも多くの方に読んでいただけるように」と知恵を出し合ってきています。出来るだけ大きな字で、行間もゆつたりと、写真も多く、行政の専門用語も極力少なめに、ただらだらした法律文書的でなくコンパクトな文を等々、毎回工夫を重ねてきております。

インターネットやケーブルテレビでも議会の様子を垣間見ることが出来ますが、議会全体の様子はこの『議会だより』が一番だと、編集委員、自負して、それだけに一生懸命編集作業に取り組んでおります。

率直なご意見をお届けください。
(森上)

編集後記